



ŌMIYA NEWS



No.137

2023年2月13日

JR 東労組大宮地本

「2023年度大宮総合車両センター業務量等について」 提案を受ける

大宮地本は、1月30日首都圏本部より「2023年度大宮総合車両センター業務量等について」提案を受けました。

提案では、大宮総合車両センターは、安全で快適な車両の提供と、輸送品質向上に向け引き続き、車両の確実な定期検査施行及び適正なメンテナンス方法の確立など、グループ一体で取り組んでいくと記されています。大宮地本は職場で発生する問題解決をはじめ、より安全で安心して働ける職場を目指し、首都圏本部と労使議論を行っていきます。

【提案内容】

1. 主な実施内容

- (1) 東京総合車両センターとの一部定期検査の業務量調整
- (2) 各総合車両センターとの一部改造工事の業務量調整
- (3) 各種改造工事の施工

2. 2023年度定期検査及び改造工事概要

① 定期検査概要

(1) 定期検査両数

車種	両数
EC	413両
SL	1両
合計	414両

(2) 配置両数

車種	検査	形式	両数
EC	交番検査	185系	12両
		253系	12両
		651系	42両
	機能保全	E257系	189両
E261系		16両	
合計			271両

(3) 主な工事

件名	編成数
中央快速線グリーン車導入に伴う車両改造準備工事(豊田車両センター E233系)	2編成
中央快速線ホームドア導入に伴う車両改造工事(豊田車両センター E233系)	2編成
E231系機器更新工事Ⅲ期(国府津車両センター E231系)	12編成

3. 実施箇所 大宮総合車両センター

4. 実施時期 2023年4月1日

□提案箇所体制について

		現在			改正			記事
		変形等	交代	計	変形等	交代	計	
大宮総合車両センター	管理	36	1	37	36	1	37	
	一般	190	4	194	174	4	178	

【主な確認事項】

- ・首都圏本部となり、これまで議論してきたことが議論できなければ不利益となる。
- ・東大宮センターでのサフィール外板清掃は異常時として対応。
- ・結果、毎日発生していることは認識している。状況を見て、適正な体制としている。
- ・検査両数は増加しているが、大きな業務量減少の要素として、装置保全が70両減となっている。

安全で安心して働ける環境をつくろう！